



令和7年度 学校だより

つなぐ

翠輝学園 つくば市立
みどりの南小学校
第21号
発行日 R7. 8. 7

未来を担う子供たちをみんなで育てよう

第1回コミュニティ・スクール推進会議

6月19日(木)午後、みどりの南中の図書室において、翠輝学園（本校・谷田部南小・みどりの南中）の3校の構成員※と、生涯学習推進課（市教育局）が出席し、「第1回コミュニティ・スクール推進会議」が開催されました。今年度は、来年度からのコミュニティ・スクール（後述）の本格導入に向けた推進会議で、市から22名の推進会議の出席者（※構成員）が委嘱され、3回の会議（今回を含む）が開かれます。第1回は、各校長による学校運営の基本方針の説明後、「地域・学校・保護者で育てたい児童生徒の姿について」をテーマに、グループで熟議をしました。「自分の好きなことに夢中になって取り組める」「あいさつが元気にできる」「お互いの違いを認め合える」「夢をもてる」「地域に戻ってきてくれる」等、育てたい子供の姿について意見が出ました。今後も学校・家庭だけでなく、地域全体で子供たちの学びや成長を支えることができるよう、保護者や地域の皆様とのつながりを深め、子供たちのために何ができるかを考えていくことになります。



“コミュニティ・スクール”って何？

「コミュニティ・スクール」とは何か、よく分からない方が多いと思います。「コミュニティ・スクール」という制度は法律に基づいて導入され、つくば市では令和4年度から、学園（小中一貫校）ごとに順次導入されてきました。今年度は、谷田部地区の2学園（翠輝学園を含む）と義務教育学校が来年度から導入されるため、その準備段階として推進会議が開かれました。

コミュニティ・スクールとは「学校運営協議会を設置した学校」のことです（つくば市は、学校運営協議会を「コミュニティ・スクール協議会」と呼ぶ）。この「学校運営協議会」は、保護者・地域住民・学識経験者・教職員等による組織で、学校運営について話し合い、学校や教育委員会に意見を述べたり、学校運営の基本方針を承認したりすることができます。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の仕組み

